

フェアプレイ
インタビュー
[空手・女子形]
清水希谷選手



プロフィール
生年月日：1993年12月7日
出身地：大阪府
2014、16年世界選手権
連覇
2019年プレミアリーグ
パリ大会、東京大会優勝



スポーツは楽しくやるのが一番

2020 東京五輪で優勝候補

2020年東京オリンピック（五輪）で初めて実施される空手の女子形で優勝候補に挙げられているのが清水希谷選手。兄が通っていた空手の道場に遊びに行っていたのがきっかけで、9歳から道場に通い始めました。「先輩たちの形を見て格好いい、きれいだなと思ってやり始めた」そうです。希谷という名前には「希望の器を大きくする人生であれ」との思いが込められています。その名前

スポーツは人生経験を厚くする

武道は結果以上に礼節が重んじられます。礼に始まり、礼に終わると言われる理由です。「常に礼儀を意識しています。トップに立ってば立つほどお手本になるように気をつけています」。



小学校や中学校では「いろんなスポーツがあるので、ぜひやってほしい。スポーツは人生経験を厚くできる。子どものころは存分にスポーツを楽しむことが一番」と自らの経験をもとにアドバイスしてくれました。JSPOのフェアプレイ宣言にある「たのしもう」を実践してきたのでしょうか。

自分なりの目標に向けて挑戦を続ける！ 高橋大輔選手



2018年に4年ぶりの現役復帰を果たした男子フィギュアスケート高橋大輔選手



2014年、思うように結果が出せない時期が続き、悩んだ末に引退をした



しかし2017年、全日本フィギュアスケート選手権で見た2人の選手が彼を変えた



怪我の影響で思うように動けなくても、今できる精一杯の演技を披露した山本選手

社会人になっても大好きなスケートに打ち込み自分らしい演技を見せた山本選手

精一杯頑張る姿とスケートが好きという気持ちがあふれた演技は観客に感動を与えた

その様子に心を打たれ



勝つことだけじゃなく...自分なりの目標に向かって精一杯頑張ろう！

—と気付けた高橋選手は現役復帰を決意したのだった



復帰後はブランクにも負けず様々なチャレンジをし

そうですね！ここはいい方が

ミスや反省点の改善にも前向きに取り組んでいる

そして2020年からは新たにアイスダンスに挑戦することを発表



新しい舞台でも自分なりの目標に向けて挑戦を続けていくだろう